

令和5年 12月 13日(水) 中央学校給食センター

【献立名】 中華丼 牛乳 バンサンスー 大学芋



【ひとロメモ】

## さつまいもの栄養について知ろう

(食文化)

今日の給食には大学芋が出ていますね。大学芋に使われているさつまいもは、中央アメリカ原産で、15世紀にアメリカ大陸へ渡ったコロンブスが、スペインに持ち帰り、そこから世界中に広がりました。日本に入ってきたのは、18世紀前半で、青木昆陽という学者が全国に広めました。

大学芋という名前は、大正時代から昭和時代にかけて、大学生が好んで食べていたことから、「大学芋」と言われるようになったという説があります。

さつまいもの主な成分はでんぷんで、熱や力のもとになります。ほかにも、ビタミンCや食物せんいが多く含まれ、健康によい食品です。今日も残さず味わっていただきましょう。

令和5年 12月 13日(水) 第二学校給食センター

(献立名) 五目ごはん 牛乳 ししゃものごま揚げ  
かぶと白菜のレモンあえ 豆腐のみそ汁



【ひとロメモ】

## 旬のかぶについて知ろう

(感謝の心)

今日のアエものに入っている白色をした野菜はかぶです。かぶは別名「すずな」ともいいます。かぶにもいろいろな種類があって、色も白、赤、青、黄色などがあります。

クイズです。みなさんが食べているかぶの白い部分は、植物のどこにあたるでしょうか？

①葉 ②根 ③実

正解は②の根です。小学1年生の国語に「大きなかぶ」というお話があり、おじいさんとおばあさん、孫、犬、ねこ、ねずみで大きなかぶをぬいていましたね。お話の内容を思い出しながら、今が旬のかぶを味わって食べましょう。

令和5年 12月 13日(水)

飯山学校給食センター

【献立名】中華丼 牛乳  
バンサンスー  
大学いも

《今日の丸亀産の食材》  
米、チンゲン菜、  
白菜、生姜



【ひとロメモ】

(食文化)

## 大学いもの名前の由来について知ろう

今日のめあては、「大学いもの名前の由来について知ろう」です。今日の給食には、大学いもがでていますね。さて、ここでクイズです。どうして大学いもと呼ばれるようになったのでしょうか。

- ①商品名に「大学」をつけるのが流行ったから
- ②大学生が好んで食べていたから
- ③大学生が学費のために売っていたから … (5秒まつ)

正解は、②です。大学いもは昭和の初め頃、東京・本郷の定食店が発祥とも言われています。近くの東京大学の学生の間で人気となり、いつしか大学いもと呼ばれました。作り方は簡単で、乱切りに切ったさつまいもを油で揚げて、砂糖・酢・醤油・水を煮詰めた蜜をからめて完成です。仕上げに黒ごまをふっても美味しいですよ。

素材がもっている美味しさを楽しめる素朴な和製スイーツ、おいしくいただきます。